

都会まちのトム&ソーヤ<sup>㊦</sup>

原田 雅子

この物語の主な登場人物は塾に通っている  
ふつうの中学生内藤内人、内人と同級生で成  
績優秀な竜王創也、内人と創也のクラスメイ  
ト堀越美晴です。

今回、内人は堀越をデートにさそう計画を  
している。場所は、シネマ16でここに青春の  
すべてがかかっている。するといつもは恋愛  
に興味を示さない創也が「アドバイスしてあ  
げるよ」と言った。内人はそんな創也をあ  
まり信用できていなかったがアドバイスをし  
てもらったことにした。今回の計画はS計画と  
名付け、土曜日下見に出かけた。私は内人  
のように正常な心になっていない時、たとえ  
興味のない創也でも一人で考えるより冷静な  
人とやっっている方が良いと思いました。例え  
は何かでパニックになったり、不安になっ  
た時は、一人よりも二人や三人など仲間であ  
ることが大切だと思っただからです。

土曜日、下見をして終えるはずが途中で二人の小学生の登場により展開が変わっていき、さまざまな怪しい人たちが出てきて始めて、私もどうゆうことなのか分からなかったのですが最後には創也の鋭い名探偵のような推理力で見事に謎が解けました。これはまず堀越さんが「はじめのデート小学生編」という題名で二人の小学生を撮影して番組を使ろうとしていた。怪しい人物という人はたまたまカメラで撮るためだった。なので内人と創也はかん違いをしていたようだ。

私は今回この物語を読んで内人堀越をデートへさそうため下見に出かけたはずだったのに小学生が出てきてからその子を救うための話へと急に変わってしまった。なのでその時はどのような内容へとなるんだろう？) と思いつながり夢中になって読んでしまいました。ほぼ性格の違う内人と創也で進められる物語はどのような中身が変わっていくか分からない所がともおもしろいです。

グイスコーン君の神様が教えてくれたこ  
とを話した。

廣瀬 若菜

「この床に落ちたホップコーンと君たちは  
食べられるかい」皆、意味がわからな  
か  
たようで黙っている。するとチャック氏は

「強くこう言った。

「いいかい？君たちには子供がホップコー  
ンを落としてもチャックはなく捨てて食べら  
れるくらい、床をきれいにすればいいんだ。

と、コーンの神様とよばれるチャックは  
「ジーンが言ったとき、私はたしかに床が  
きれいだ。たらちやうちよなく食べられるな  
と思いましたが。」

私は、グイスコーンで働きたいと思っ  
たのでこの本を読んでみようと思いましたが。

最初はみんななコーンをするのをいやが  
てやる気がなかったのだから読むのをやめよう  
かと思いましたが。

かいぞう文庫

私は、昔、「おばあちゃんの家」の家の床はきれ  
いだからと、「言っ」て落とした食べ物や「ち  
ゃうぢ」  
「よく食べ」ていたので、「チャ」ッ「ク、ホヤ」ジ  
この言っ「た」子供が「ポ」ゴ「コ」を落として、も  
ち「ゃ」うち「よ」なく捨「て」て食べられるくらい、床  
をきれいにしてほし「い」んだ」と言っ「こ」とが、  
とてもわかりました。

私は、この本を読んで学校のそうじ、家の  
そうじを、きちんとして、みんなが食べ物  
を落としても「ち」ゃ「う」ち「よ」なく捨「て」て食べられ  
るような床にしたいです。

かいぞう文庫

画学生さんたちの思い

福田 美咲

お父さんとケンカをして家出をしたツヨシが長野県に住む春おばさんをたずねるところからこの話が始まります。春おばさんには、六〇年以上も前のある秘密がありました。その秘密とは、春おばさんには昔、好きな人がいました。しかし、その人は戦争に行っただけでなくなりました。

私は、この物語を読んで無言館という美術館を知りました。

無言館は美術を学ぶための学校に通っている学生が書いた絵がかざってある美術館です。私はもし行ける機会があれば無言館に行ってみたいと思いました。なぜなら、どんな絵が書いてあるのかを見たいし、どんな思いで書いたのか任わってくるところだ。たの無言館に行きたいと思いました。

ツヨシと春おばさんは、無言館に行きました。無言館の中には戦争に行く前の画家さん

の絵がたくさんかけてありました。絵には画  
家さんのいろいろな思いがあります。「この絵  
を描き続けたい。」「生きて帰って来たら必ず  
この絵の続きを描こう。」などの思いがこめて  
あります。

私はツヨシが無言館に行つたとき心がズ  
キリと痛んだと書いてあつたとき、私も無言  
館に行つたらそうなるだろうなと思ひました。

私は「春おばさんのスリッパチブツク」を  
読んで戦争に行く前の人たちがどんな思ひで  
絵を書いたのかとあらためて思うことができ  
ました。私は無言館をもつとみんなに知って  
もらつたほうがいいと思ひました。